

市制5周年記念

淡路だんじり祭

「チョーサジャ!!」の掛け声とともに27台のだんじりが集結!!
布団だんじりや投げだんじりの魅力はもちろん、情緒あふれるだんじり
唄、獅子舞も見所です。また、和太鼓や園児の竹太鼓も出演します。
お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



○日時 4月29日(木・祝) 9:00~15:00
○場所 三原健康広場 ※雨天中止

【駐車場】三原健康広場グラウンド、淡路三原高校グラウンド、あわじ島農協本所、淡路島酪農本所、市役所中央庁舎(送迎バスあり)

『フォトコンテスト』出品者募集

淡路だんじり祭を撮って南あわじ市の特産品をゲットしよう!

●賞と賞品

- ☆特選 3万円相当の淡路ビーフ〔1点〕
- ☆準特選 1万円相当の鰹など海産物〔2点〕
- ☆入選 5,000円相当の地域特産物〔3点〕
- ☆佳作 10点〔副賞あり〕

※応募要領は市ホームページに掲載しています

『フリーマーケット』出展者募集

●区画数 30区画〔500円/区画〕
1区画〔2m×2m〕

●商品 ご家庭で不要になったもの
※動植物、飲食物、薬品等は不可

●申込締切 4月13日(火)

※応募数が募集区画数に達したときは締め切らせていただきますのでご了承ください

◆運営ボランティアとして、会場やシャトルバスの案内、子ども広場などでご活躍いただける人を募集中です!

◎お問い合わせ・お申し込み 淡路だんじり祭実行委員会事務局(生涯学習文化振興課内) ☎37-3020

賀集(かしゅう)

『続三原郡史』

地名の由来

その10

鹿塩(かしゅう)?



「和名抄」に三原郡賀集郷とあり、「加之乎」と訓じている。「護国寺文書」では「かしお」また「かしう」と記されている。語源として考えられることは、淡路は奈良時代に「調(みづぎ)」として「宍」を貢納する国であるが、賀集には鹿子など鹿のつく小字が多い。鹿塩すなわち塩漬けた鹿の肉から「かしお」となったという説がある。また、櫃の木のある所の意の「櫃生」などである。諸説があるが、いずれとも決めがたい。

江戸期から昭和三十年までの賀集中村に当たる。旧南淡町の北部にある。東部を北西流する大日川の川筋は、北東、野田村との境をなし、西部を山路川が北へ流れる。賀集中村は、中世の賀集荘の中心地の意であろう。賀集中村の初見は、「護国寺文書」の文明二年(1480)八月、当村が、護国寺警護

の番役を命ぜられた文書に中村と見える。安土桃山期の作と伝えられている護国寺蔵「賀集山往古大伽藍之図」にも賀集中村の集落が描かれている。「正保国絵図」には賀集中村とある。「味地草」に、当時の傍示として、文所、筋所、中所、下所、平所、藪所の六傍示が記載されている。明治三年(1870)七月、明治天皇によって、当時の天王の森を淳仁天皇陵と治定された。なお、小字石井は、前述(続三原郡史888頁)の伊勢御師の「来田文書」にある石井ではなからうか。

第7編 各説 地名の改変
三原郡の大字名と冠称の由来から抜粋

見逃せない!三原郡域六十二遺跡の調査記録!

限定版

編集事務局

市長公室 ☎43・50002

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>
E-mail: kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp

広報南あわじ 2010.4.1

No.63

編集発行 南あわじ市総務部情報課 ☎656-0472 兵庫県南あわじ市善光寺18番地27 TEL(0799)43-5003 FAX(0799)43-5103